

2025年
5月15日 発行

vol.

12

発行：一般社団法人日本がん治療認定医機構

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 (一財)国際医学情報センター内

TEL: 03-5361-7105 FAX: 03-5361-7091 HP: <https://www.jbct.jp/>

がん治療認定医として、 日本がん治療認定医機構の役員として思うこと

副理事長 井本 滋



日本がん治療認定医機構（以下、機構）は、日本医学会の提言に基づき 2006 年 12 月に発足しました。がん関連の学術団体である日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会の 3 学会に、全国がん（成人病）センター協議会が加わることで、日本のがん診療の向上と地域格差の解消を目的として始まりました。私は 2007 年度第 2 回試験に合格し、翌年 48 歳でがん治療認定医（以下、認定医）となりました。乳がん診療を専らとする中年医師にとりまして、基礎から臨床まで全領域の重要ポイントを学び直すことは結構大変な作業であったと記憶しています。ただ、印象的であったのは、幕張メッセの試験会場で著名な先生が受験生の確認や試験の監督など粛々と対応されておられる姿に大変驚きました。試験前日の午前と午後、そして試験当日の午前に全領域の講義を受けて午後の試験に臨みますが、講師の中にはさりげなく出題箇所を示唆する発言もあって緊張の中にも和気藹々とした瞬間もあり、試験が終わる頃にはがん全般が診れるような気分になりました。勿論、専門医試験ではありませんから最低限知っておくべき事項から出題されますが、少なくとも 2 回はテキストを読み通す位の準備が無ければ受かることはありません。

機構は運営に関わる委員会に加えて、教育委員会、関連学会連絡委員会、がん関連患者団体連絡委員会などから構成されています。丁度、日本乳癌学会理事であった時に関連学会連絡委員会から推薦されて 2013 年に機構の理事に加わりました。機構の HP をご覧いただきますと、教育委員会は大所帯です。領域別に試験問題と講義資料が作成されますが、問題を作成する委員と評価する委員は分かれていますので厳密かつ厳格に作業は進められます。問題数は 60 題ですが、準備にほぼ 1 年を掛けています。近年は年度毎の問題の難易度を調整すべく等化処理も行われていますので、より公正に合格点が決められています。

ご存知のように、2014 年に日本専門医機構が発足し新たな専門医の育成が始まりました。元々、各学術団体が独自に専門医を育成しておりましたが、「国民目線から見て信頼できる専門医」を育成するために、基盤領域とサブス

ペシャルティ領域の専門医育成の要件を定めて、プログラムあるいはカリキュラムに基づく研修を科しています。一方、機構の認定医とは、自らの専門領域以外のがん診療に関する幅広い知識と情報の習得を求めるもので、専門以外のがん診療が突如出来るようになる訳ではありません。ただ 5 年に一度の認定医の更新では、臨床試験、遺伝子診断、分子標的療法、免疫療法など知識がアップデートされますので、がん診療に携わる者として認定医の取得は有用な情報ツールとなります。

コロナ禍もあって集合による試験は終了となり、2022 年度から CBT による認定試験が実施され、各領域の講義もビデオ講習となりました。遠方の受験生にとって、また多忙な役員にとって効率的ではありますが、以前の試験会場で繰り広げられた受験生や役員との交流はなくなりました。一方、正答率、識別指数、等化処理の数字を頼りに問題を評価するしかありませんが、生成 AI の技術革新の速度を以てすれば、近い将来、教育委員会は人から AI に移行するのではないかと想像されます。空想はさておき、12 年間の役員として認定医の社会貢献について考案できずに終えることが心残りです。以前、日本専門医機構の社員として新専門医制度における認定医のプレゼンスについて議論されましたが、実装されるには至りませんでした。微力ながらサブスペシャルティである乳腺外科専門医のカリキュラムを作成した際に、「Off the job training」の項目に認定医の取得による自己学修を記載しました。最後に、認定医は単なる資格ではなく、がん診療の中で活かされ、更に何らかのクレジットが付与される未来を期待しています。機構の皆様には長らくお世話になりありがとうございました。

がん治療認定医総数

18,358 名

がん治療認定医(歯科口腔外科)総数

699 名

2025 年 4 月 1 日現在

▼ 目 次

がん治療認定医として、

日本がん治療認定医機構の役員として思うこと 1

2024 年度認定医試験報告 2

2024 年度認定医および認定研修施設審査結果報告 2

役員一覧 2

重要 今年度がん治療認定医試験は CBT にて開催いたします ... 3**要確認** 2025 年度更新手続きが 6 月にスタートします 3**注目** 2025 年度教育セミナー (e-learning) が

無料受講できます 3

2025 年度 教育セミナー・認定医試験開催概要 4

2025 年度 認定研修施設更新手続・在籍報告について 4

編集後記 4

2024 年度認定医試験報告

教育委員会

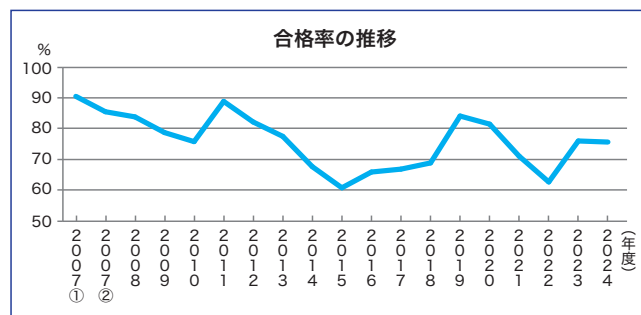
委員長 滝口 裕一



2024 年 10 月 20 日に第 19 回がん治療認定医試験が実施され、783 名が受験しました。CBT (Computer Based Testing) による試験もこれで 3 回目になりました。CBT ではお近くの会場を選べる利便性を提供できる一方で、全国多数箇所の試験会場を把握することが困難となり、一部の先生にはご迷惑をお掛けすることもあります。問題点ひとつひとつを分析し、今後さらに多くの先生に利便性を感じていただけるよう心がけていますので、ご意見・ご提案がありましたら是非ご連絡くださるようお願い致します。試験は例年通りテキストの第 I 部 (がん治療に求められる基盤的知識) と第 II 部 (各種悪性疾患の診断と治療の基本原則) から 1:1 の問題数、配点でした。合格者は 594 名 (医師 554 名、歯科医師 40 名)、合格率 75.86% でした (図 1 参照)。合格率は昨年と同程度でした。等価評価に基づいた合否判定を行い、問題の難易度の違いによる年度間の不公平をなくしています。日常臨床でご多忙の中、このような好成績を修められた先生方の日頃の研鑽に深く敬意を表したいと思います。

一方、最近 2～3 年の受験者数減少傾向を危惧しています。既に本機構の認定医を取得されている先生におかれましては是非とも周囲の同僚・後輩の先生にも、本認定医を取得するようお誘いいただければ幸いです。WEB での更新試験も併せ、本認定医試験を今一度ご自身のがん治療に関する基盤的知識の点検の機会ととらえていただき奮ってのご参加を期待いたします。

図 1



2024 年度認定医および認定研修施設審査結果報告

資格審査委員会

委員長 馬場 英司



2024 年度のがん治療認定医認定は 596 名の新規認定と、猶予を含めて 3,048 名の更新認定 (1 回目 884 名、2 回目 763 名、3 回目 1,401 名) を行いました。教育セミナーは例年通り e-learning 形式で行われ、認定試験は昨年から引き続き CBT (computer based testing) 形式で実施いたしました。認定試験は大きな問題もなく円滑に完遂いたしました。継続認定者数は概ね昨年同様であり、認定医が本邦のがん医療に貢献していることがうかがわれます。一方で、新規認定者の減少が見られることから、本認定医の取得を通してがん医療の幅広い基本的知識を十分に習得することの意義を、引き続き周知してゆくことが必要と思われる。

認定研修施設の審査では、新規申請 4 施設は全て合格、更新申請 53 施設もいずれも合格となりました。本機構の

定める認定基準を満たして、認定医の教育を実施できる施設ばかりです。ただがんとそれ以外の疾患にも対応しながら、地域において極めて重要な役割を担っている小児専門施設などでは、必ずしも認定基準を満たすがん登録数や手術数の確保が容易ではない場合もあるようです。各地域の実態にも目を向け、がん医療を目指す若手医師の育成の機会が得られるよう、審査の基準も常に確認しながら公正な審査を進めて参りたいと思います。

2024 年度がん治療認定医審査結果

新規合格者数 **596 名**

更新合格者数 **3,048 名**

役員一覧

- 理事長** 大江 裕一郎
- 副理事長** 土岐 祐一郎 (大阪大学)、井本 滋 (杏林大学)
- 理事** 影山 幸雄 (埼玉県立がんセンター)、調 憲 (群馬大学)、滝口 裕一 (山王病院)、田中 洋史 (新潟県立がんセンター新潟病院)、田村 研治 (島根大学)、土原 一哉 (国立がん研究センター先端医療開発センター)、土井 俊彦 (国立がん研究センター東病院)、馬場 英司 (九州大学)、張替 秀郎 (東北大学)、菱木 知郎 (千葉大学)、松尾 幸憲 (近畿大学)、三森 功士 (九州大学病院別府病院)、武藤 学 (京都大学)、山上 亘 (慶應義塾大学)、吉野 孝之 (国立がん研究センター東病院)
- 監事** 藤原 俊義 (岡山大学)、野々村 祝夫 (大阪大学)

重要

2025 年度がん治療認定医試験は CBT(computer based testing) にて開催いたします

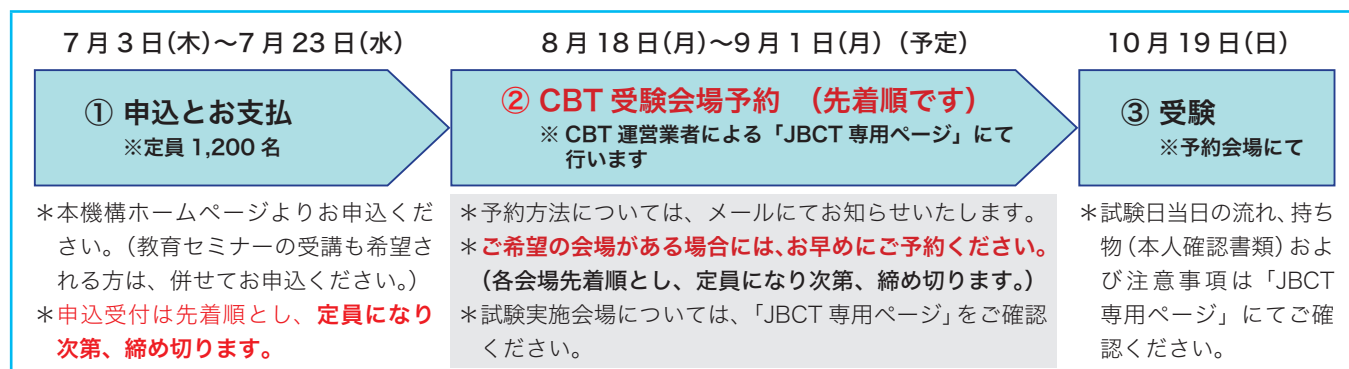


2024年度、CBT (computer based testing) による試験を全国各地計81会場にて実施いたしました(会場数は右図参照)。2025年度もCBTにて開催いたします。

試験会場については、**各会場、先着順の予約**となりますので、優先受付期間内にお早めにお申し込みください。教育セミナーはe-learningの受講となります。

※詳細は本機構ホームページをご確認ください。

【お申し込みから受験までのながれ (定員 1,200 名予定)】



(参考) 2024 年度試験会場数一覧

都道府県名	会場数	都道府県名	会場数	都道府県名	会場数
北海道	2	石川県	1	岡山県	2
青森県	1	福井県	0	広島県	1
岩手県	1	山梨県	1	山口県	0
宮城県	2	長野県	1	徳島県	1
秋田県	1	岐阜県	1	香川県	0
山形県	0	静岡県	2	愛媛県	1
福島県	1	愛知県	5	高知県	0
茨城県	1	三重県	1	福岡県	6
栃木県	1	滋賀県	1	佐賀県	0
群馬県	1	京都府	3	長崎県	1
埼玉県	2	大阪府	8	熊本県	2
千葉県	2	兵庫県	3	大分県	1
東京都	13	奈良県	1	宮崎県	1
神奈川県	4	和歌山県	1	鹿児島県	1
新潟県	1	鳥取県	0	沖縄県	1
富山県	0	島根県	1	計	81

〈がん治療認定医、がん治療認定医(歯科口腔外科) 更新対象者〉

要ご確認

2025 年度更新手続きが 6 月にスタートします

6月より更新手続きを開始いたします。(更新手続きは5年に1度行います。)

2025年度更新対象の方は、ホームページをご確認いただき、MyPageより更新手続きをお願いいたします。

【更新手続きの流れ】 ※詳細は本機構ホームページをご確認ください。

① 更新申請資格の確認 ⇒ ② MyPageへログイン ⇒ ③ 更新申込・更新審査料のお支払い
⇒ ④ e-learning 受講・ミニテスト受験 ⇒ ⑤ 審査申請 Web 登録・提出 ⇒ ⑥ 更新認定料のお支払い

※2024年6月にシステムをリニューアルしております。2024年6月以降に一度もログインしたことがない方は事前にMyPageのパスワード再設定を行ってください。ご登録のメールアドレスを変更の場合は事務局へご連絡ください。

※2021年度以後、Web試験受験は、e-learning受講およびミニテスト受験に変更となっておりますのでご注意ください。



〈がん治療認定医、がん治療認定医(歯科口腔外科) 限定〉

2025 年度教育セミナー (e-learning) が無料受講できます

がん治療の知識のブラッシュアップを随時行っていただけるよう、がん治療認定医／がん治療認定医(歯科口腔外科)の方へ、当機構の教育セミナーを今年も配信いたします。

◆受講期間：2025年11月～2026年2月(予定)

◆費用：無料

◆内容：2025年度教育セミナーおよび
テキスト第19版(PDF)
※テストはありません。

◆受講方法：ご自身のMyPageよりアクセスしてください。

◆注意事項：・更新猶予期間中は受講はできません。

・修了証は発行されません。

・**がん治療認定医の更新の申請資格としては使用できません。**

※詳細は、2025年10月下旬頃、ご登録のメールアドレス宛にお送りしますのでご確認ください。

2025 年度 教育セミナー開催概要

開催に関する詳細につきましては、HPをご確認ください。

開催日程 2025年10月3日(金)13時
～10月18日(土)24時

開催方法 Webによる開催

申込期間 7月3日(木)～7月23日(水)
本機構HPよりお申込みのうえ、所定の金額をご入金ください。

定員 1,200名

費用 教育セミナーのみ 14,410 円
認定医試験のみ 14,410 円
セミナー・試験両方 25,410 円
※いずれもテキスト代・事務手数料・消費税込

! テキストは、8月末までに送付いたします。
必ず事前に予習をしたうえで、受講・受験に臨んでください。

●教育セミナー 講義内容一覧

Ⅰ：がん治療に求められる基盤的知識

1. がんの生物学・分子生物学 (川上 尚人・東北大学病院)
2. 遺伝性腫瘍 (植野 さやか・藤田医科大学医学部)
3. 腫瘍免疫学 (富樫 庸介・岡山大学学術研究院医歯薬学域)
4. がんの疫学・がん検診 (井上 真奈美・国立がん研究センター)
5. 臨床研究と統計学 (口羽 文・帝京大学大学院)
6. 病理学 (分子病理学を含む)
(谷田部 恭・国立がん研究センター中央病院)
7. 画像診断学 (渡辺 裕一・国立がん研究センター中央病院)
8. 外科治療学概論 (調 憲・群馬大学医学部附属病院)
9. 化学療法概論 (佐藤 靖祥・東京大学医学部附属病院)
10. 分子標的薬概論 (内藤 陽一・国立がん研究センター東病院)
11. 免疫療法概論 (市原 英基・岡山大学病院)
12. 放射線療法概論 (伊藤 芳紀・昭和大学医学部)
13. 緩和医療特論 (井上 彰・東北大学大学院)
14. 精神腫瘍学 (サイコオンコロジー) (稲垣 正俊・島根大学医学部)
15. がん救急 (藤阪 保仁・大阪医科薬科大学)
16. がんの診療と倫理 (佐藤 潤・国立がん研究センター中央病院)

Ⅱ：各種悪性疾患の診断と治療の基本原則

1. 脳腫瘍 (園田 順彦・山形大学大学院 医学系研究科)
2. 頭頸部がん (田原 信・国立がん研究センター東病院)
3. 食道がん (森田 勝・九州がんセンター)
4. 胃がん (高張 大亮・群馬大学医学部附属病院)
5. 大腸がん (高島 淳生・国立がん研究センター中央病院)
6. 肝がん (平岡 淳・愛媛県立中央病院)
7. 胆道がん・膵がん (井岡 達也・山口大学医学部)
8. 肺がん (吉岡 弘鎮・関西医科大学)
9. 乳がん (尾崎 由紀範・がん研究会有明病院)
10. 婦人科がん (原野 謙一・国立がん研究センター東病院)
11. 骨・軟部腫瘍 (小島 勇貴・国立がん研究センター中央病院)
12. 泌尿器科腫瘍 (北村 寛・富山大学医学部)
13. 皮膚がん (西澤 綾・都立駒込病院)
14. 白血病 (山内 高弘・福井大学医学部)
15. 悪性リンパ腫・多発性骨髄腫
(棟方 理・国立がん研究センター中央病院)
16. 小児がん (竹谷 健・島根大学医学部)

2025 年度 認定医試験開催概要

開催に関する詳細につきましては、HPをご確認ください。

開催日程 2025年10月19日(日)
受付時間 12時30分～12時45分
試験時間 13時00分～14時25分(85分)

開催方法 CBT(computer based testing)

開催会場 各CBT会場(全国47都道府県)
※開催しない県・会場が発生する場合があります。

申込期間 7月3日(木)～7月23日(水)

**受験会場
予約期間** 8月18日(月)～9月1日(月)
本機構HPよりお申込みのうえ、左記教育セミナー開催概要に記載の所定の金額をご入金ください。その後、受験会場予約期間に会場予約を行ってください。

定員 1,200名 (※ただし会場毎に定員あり)

認定研修施設

2025年度 更新手続・在籍報告について

更新手続

対象施設 2021年4月1日付で認定または更新認定された施設で、更新を希望される施設

更新手続 対象施設には施設長あてに個別に郵送にて「認定研修施設更新通知書」をお送りいたします。
(詳細は、HP「認定研修施設更新申請」をご確認ください。)

在籍報告

対象施設 更新手続対象(上記)以外の施設

提出方法 対象施設には施設長あてに個別に郵送にて「認定研修施設在籍報告のお願い」をお送りいたします。
(詳細は、HP「認定研修施設在籍報告」をご確認ください。)

! 認定研修施設の審査基準をご確認のうえ、更新手続または在籍報告を行ってください。
<https://www.jbct.jp/facilities/outline.html>

編集後記

このたびJBCTニュース第12号を発刊いたしました。今回の巻頭言は長年本機構の事業にご尽力いただいた井本先生によるものですが、がん治療認定医に関するご自身の思いに加え、本機構の発足からの経緯、事業体制・資格認定が含まれており、お読みいただければ、本機構が本邦のがん診療に果たしてきた役割がご理解いただけると思います。井本先生のこれまでのご貢献に改めて感謝申し上げます。その他、認定試験情報や試験実施報告などを中心としたラインナップについてはこれまで通りとなっておりますので、ご参考にしていただければと思います。本機構の認定試験はコロナ感染症を契機にCBT化いたしました。システムとして定着してまいりました。今後も多くのがん治療認定医を輩出し、本機構のミッションであるがん診療の均てん化を目指してまいりますので、よろしくご支援のほど、お願い申し上げます。(広報・渉外委員会委員長 張替秀郎)